

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年2月1日

事業所名: あけぼの園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

回収数 54(回収率 79% 配布数68)

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		人数によっては、狭いときもあるが、限られたスペースでもできる遊びを行っている。てくてくルームは人数が多くなるとせまいと感じる。	59.3%	25.9%	13.0%	1.9%	現施設では、少し手狭に感じるが、新施設への移転を期待します。(複数)・少し狭くも感じるが目が行き届くように思う。・個別療育で数名での活動なので、十分確保されている。てくてくルームの部屋が少し狭いような気がします。(複数)	現施設では、十分なスペースの確保が難しいこともあります。移転まで工夫しながら使用していきます。
	2 職員の適切な配置		○		規定上は適切。しかし、兼任で配置しているため、職員の負担は大きい。	90.7%	3.7%	0.0%	5.6%	退職される先生が相次ぎ、今後不安はある。・個別療育で数名での活動なので、十分確保されている。	配置数は適切ですが、子どもの状態によっては、適切ではないと感じることがあります。年度途中の担当の変更により、ご心配、ご迷惑をおかけしましたが、職員で協力しあい、丁寧に子どもたちと向き合って療育ができるように努めていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		○		利用児の特性に合わせて環境整備を行っている。利用児の障がいの状態に応じて、トイレ介助の床にクッションシートを敷く等の配慮を行っている。	72.2%	16.7%	11.1%	0.0%	段差があるところがあり、躓くことがある。・部屋内は分かりやすい環境と思うが部屋を出ると物が多い。・現施設では、少し手狭に感じるが、新施設への移転により解消されるはず。・老朽化した建物のため、バリアフリー化などは、あまりない。	3事業それぞれの利用者にあった設備整備は適切とは言えませんが、新施設は、使いやすい構造になっています。それまでは、工夫しながら使用していきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			モニタリングには、協力している。相談支援事業所からサービス担当者会議に招かれることがありませんが、新規事例においては、、利用日数や、希望の曜日、子どもの状態など電話で伝えてもらっている。						
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○			必要に応じて訪問看護や、他事業所と連絡を取り合い、連絡会などで情報を共有し、安全な療育が提供できるようしている。						
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○			嘱託医である市立宇和島病院の小児科医師にケアが必要なお子さんについて相談ができる機会を設けている。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			あいあいルームは、就園・就学に関して園や小学校の見学の段取りを行ったり、教育相談の同席をしたりしている。てくてくルームにおいては、十分でないと感じている。						幼稚園・保育園・相談支援事業所等の関係機関を交えた連絡会を保護者同席にて行っています。来年度は、時期・内容等より充実したものになるように計画しております。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			愛媛県子ども療育センターの巡回相談を利用し、助言を受けている。市立宇和島病院や、伊予病院、愛媛大学の先生から研修の機会を設けている。						オンライン研修も含め、発達障がい者支援センターの研修を2回受け、全職員に対して伝達研修を行いました。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
連携（続き）	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		29.6%	13.0%	11.1%	38.9%	コロナが落ち着き、計画していたいているとは思いますが、なかなか参加できず、どんな事しているかわからないです。・障がいのない子どもと活動した話は聞いていないため。 ・保育園との連携をとってほしいと思う。・連絡会の他にも、日頃の保育園での様子を見て頂き、連携できるとなお良いように思う。	並行通園（幼保・小中）の利用児が大部分を占めています。連絡会については、「関係機関との連携4」で回答しています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○		地域住民の招待はしていないが、夕涼み会では、外部団体の協力を得ながら盛大に行うことができた。みかん狩りでは外部団体から招待を受けた。1カ月に近くに渡り、看護学生のボランティアを受け入れた。いくじ学級では、児童民生委員さんに子どもたちの見守りのお願いなど、地域の方に協力していただきながら、運営している。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				96.3%	3.7%	0.0%	0.0%		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				94.4%	1.9%	0.0%	3.7%		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			母子療育・個別療育・療育相談・いくじ学級などを通して、子どもの発達を理解し、子どもの成長を促すことのできる関わり方を伝えている。	77.8%	9.3%	1.9%	11.1%	・ペアトレではないが、交流会や、勉強会を良く行われていると思います	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○				92.6%	7.4%	0.0%	0.0%	・職員の方が忙しそうで、話をしにくいときがある。・課題についてズレが生じていると感じるため。・療育の時間以外で、先生と個別で話せる時間があまりない。	いつでもお声ください。その場で対応できない場合は、別日にて対応いたします。
	5	○			内容によっては、難しいケースもあるが、その場合は、園長や自発管に相談して対応している。	88.9%	7.4%	0.0%	3.7%	・小さな疑問や悩みにも丁寧に助言いただきやすさかっている。・まだ利用し始めたばかりなので、面談などはない。	
	6	○			保護者交流会を今年度2回開催した、2月に3回目の予定。多くの保護者が集まり、積極的な交流ができた。行事が復活し、保護者会（たけのこ会）の活動が活発化した。	86.8%	7.5%	0.0%	5.7%	・特に保護者交流会はありがたい。今後も続けていただきたい。・今年度は、保護者交流会が開かれ、様々な保護者と話せる機会があった。	保護者交流会の記事や、保護者会（たけのこ会）の活動の様子を園だよりでお知らせしました。好評であったため、来年度も保護者交流会を継続する予定です。
	7	○			関係機関とも連携し、迅速に対応した。職員で内容を共有し、対応について話し合った。	79.2%	7.5%	0.0%	13.2%	・丁寧に対応していただいた。	
	8	○				88.7%	9.4%	0.0%	1.9%	・十分でないと感じることがある。	
	9	○				88.7%	7.5%	0.0%	3.8%	・園だよりが毎月内容豊富で見やすい。・HPは見たことがないので、今度見てみようと思います。	
	10	○				86.8%	5.7%	0.0%	7.5%	・十分に注意されているとは思いますが、現施設の構造上職員室の中を保護者や子どもが通り抜けることが多いため、懸念はある。	職員室の書類におきましては、今後も十分に気を付けていきます。新施設は、職員室が独立しており、通り抜けられない構造になっています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか					86.8%	7.5%	1.9%	3.8%	・とても嬉しそうです。・一緒に遊んでいる子の様子によって、感情が不安定になるようで、少し行くのを嫌がる。・いつも通園を楽しみにしています。ありがとうございました！（複数）	年2回療育の小集団のグループの見直しを行っていますが、利用児の様子によっては随時対応いたします。2月から新年度に向けて通園計画を立てていきます。利用時間や、曜日等希望がある場合は、その旨お伝えください。
	2 事業所の支援に満足しているか					92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	・満足！！・利用人数が多いため、週1の1Hだけの利用だけなのが残念。週1で、今より少し長めの時間あると、ありがたい。・やや不満を感じている。・いつも大変お世話になっております。	